

消 防 費

9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

① 組合消防費（防災安全課）

乙訓消防組合の運営経費について分担金を支出した。

令和6年度分担金 787,638,000円

9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

① 消防団活動費（防災安全課）

1 組 織

団本部 団長 1人 副団長 2人	第1分団（物集女町）	（主な配置設備）
	分団長 1人	消防ポンプ自動車 1台
	副分団長 1人	可搬式小型動力ポンプ 1台
	班長 3人	
	団員 21人	
	第2分団（寺戸町）	（主な配置設備）
	分団長 1人	消防ポンプ自動車 1台
	副分団長 1人	可搬式小型動力ポンプ 1台
	班長 3人	
	団員 19人	
	第3分団（森本町）	（主な配置設備）
	分団長 1人	消防ポンプ自動車 1台
	副分団長 1人	可搬式小型動力ポンプ 1台
	班長 3人	
	団員 20人	
	第4分団（鶏冠井町）	（主な配置設備）
	分団長 1人	消防ポンプ自動車 1台
	副分団長 1人	可搬式小型動力ポンプ 1台
	班長 3人	
	団員 15人	
	第5分団（上植野町）	（主な配置設備）
	分団長 1人	消防ポンプ自動車 1台
	副分団長 1人	可搬式小型動力ポンプ 1台
	班長 3人	
	団員 17人	
	第6分団（向日町）	（主な配置設備）
	分団長 1人	消防ポンプ自動車 1台
	副分団長 1人	可搬式小型動力ポンプ 1台
	班長 3人	
	団員 17人	

2 定員と現在員

条 例 定 員	現 在 員
150人	142人

3 年額報酬と出勤報酬

年 額 報 酬

区 分	金 額	人 数
団 長	82,500 円	1 人
副 団 長	69,000 円	2 人
分 団 長	50,500 円	6 人
副 分 団 長	45,500 円	6 人
班 長	37,000 円	18 人
団 員	36,500 円	109 人

出 勤 報 酬

区 分	金 額	人 数
災 害	1日につき 8,000円	136 人
警戒又は 訓練	1日につき4時間以内の場合 4,000円	2,270 人
	1日につき4時間を超える場合 8,000円	39 人

合計金額	10,480,000 円
------	--------------

合計金額	5,398,410 円	※途中入団による日割り支給含む
------	-------------	-----------------

4 表 彰

表 彰	種 類	人 数
京 都 府 知 事 表 彰	精 励 章	2人
日 本 消 防 協 会 長 表 彰	精 績 章	1人
	勤 続 章	3人
	功 績 章	1人
京 都 府 消 防 協 会 長 表 彰	精 績 章	1人
	精 勤 章	2人
	特 別 表 彰	6人
向 日 市 長 表 彰	普 通 表 彰	5人
	永 年 勤 続 表 彰	1人
京 都 府 消 防 協 会 乙 訓 支 部 長 表 彰		5人
向 日 市 消 防 団 長 表 彰		5人

5 研 修

開催日・場所	課 程	人 数
4月26日 京都府立消防学校	消防団員特別教育操法指導科	3人
10月5日 京都府立消防学校	消防団員専科教育警防科	3人
11月9日 京都府立消防学校	消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程	3人

6 訓 練

開催日・場所	訓 練	人 数
4月21日 向日消防署	幹部指揮・初級団員訓練	41人
6月～8月 第6向陽小学校	ポンプ車操法訓練	904人
11月 向日消防署	副団長視閲訓練	52人
1月26日 向日神社	文化財防火運動に伴う消防訓練	33人

7 装備の点検整備等

(1) 消防自動車の法定点検状況

(単位：台)

整備項目	台数
定期車検整備台数	3
定期点検整備台数	3

(2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具

(単位：個)

機 械 器 具		個 数
小型動力ポンプ		6
救 助 器 具	バール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36
	チェーンソー	6
	コンクリート破壊器具	6

9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

① 消防施設整備費（防災安全課）

1 消防水利の整備

水利標識の交換	37か所
---------	------

2 消防水利の状況（令和7年3月31日現在）

(1) 消火栓

(単位：基)

区分 \ 町別	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
計	78	215	62	80	123	19	577

(2) 防火水槽

(単位：基)

区分 \ 町別	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
40m ³ 以上	22	61	16	15	31	3	148
40m ³ 未満	2	4	1	3	0	0	10
計	24	65	17	18	31	3	158

(3) その他の水利

(単位：箇所)

区分 \ 町別	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プール	2	4	1	0	1	1	9
池	4	4	0	0	0	0	8
その他（受水槽等）	1	1	0	0	2	1	5
計	7	9	1	0	3	2	22

9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

② 災害対策事業費（防災安全課）

1 防災会議の開催

災害に対する予防、応急対策及び復旧について、防災関係機関と書面会議を行った。

内	容
	・令和6年度防災関連事業報告について ・令和7年度防災関連事業計画(案)について ・令和7年度向日市地域防災計画の修正（案）について

2 防災パトロールの実施

出水期を前に、市内の災害危険箇所の点検を実施した。

開催日・場所	内	容	参 加 者
5月15日 土砂災害特別警戒区域 (物集女町長野、北ノ口)		土砂災害特別警戒区域のパトロール、実態把握	7人

3 向日市防災訓練の実施

開催日・場所	内	容	参 加 者
1月26日 向陽小学校 第2向陽小学校 第3向陽小学校 第5向陽小学校 第6向陽小学校 勝山中学校 市民体育館		・情報集約・情報伝達訓練 ・避難所受付訓練 ・避難所設営訓練	260人

4 乙訓2市1町合同 防災一斉行動訓練（シェイクアウト訓練）

自分の身は自分で守る「自助意識」の高揚を図るため、大規模地震を想定し、乙訓2市1町合同でシェイクアウト訓練を実施した。

開催日・場所	内	容	登 録 者
3月11日 市内各所		・地震が発生したと想定し、身の安全の確保 ・緊急速報メール及びエリアメールの配信 ・向日市防災・防犯メールの配信	2,554人

5 全国瞬時警報システム（Jアラート）全国一斉情報伝達訓練

消防庁からのJアラートによる情報を自動的に市民及び関係機関に伝達する訓練を実施した。

開	催	日	内	容
第1回	5月22日	午前11時	・向日市防災・防犯メールの配信 ・関係機関に配備しているMCA無線の起動確認 ・回転灯の起動確認	
第2回	8月28日	午前11時		
第3回	11月20日	午前11時		
第4回	2月12日	午前11時		

6 啓発事業

事業名	開催日・場所	内 容
防災とボランティア週間	1月14日～17日 永守重信市民会館	ボランティア活動写真の展示、防災パンフレットの配布による「ミニ防災展」により啓発に努めた。
出前講座	5月 9日 イトーピアシニアクラブ 5月23日 第3向陽小学校 9月 5日 第4向陽小学校 9月12日 第2向陽小学校 9月15日 寺戸大牧自治会 11月12日 まちの防災研究会	延べ357人の児童生徒、教員、市民に出前講座を実施し防災知識の啓発に努めた。

7 災害対応

気象警報等の発表に伴い、災害警戒本部を設置し危険箇所のパトロールなどを行い、市民の安心・安全の確保に努めた。

日 時	災 害 種 別	警 戒 種 別	動 員 数	避難所開設状況・避難人数
5月28日	大雨警報	災害警戒本部	6人	—
11月 2日	大雨警報	災害警戒本部	10人	—
8月 8日 ～15日	南海トラフ臨時情報 (巨大地震注意)	災害警戒本部	88人	—
1月13日	南海トラフ臨時情報 (調査中)	災害警戒本部	6人	—

8 防災関係整備事業

備蓄物資の充実

アルファ化米、粉ミルク、液体ミルク、保存水、ビスケット、クラッカー、保存ゼリーなどの備蓄物資を計画的に整備し、充実を図った。

9 トイレカー導入事業（令和6年度主要事業）

自然災害等の発生時に避難所の適切な運営・感染症対策を行うことを目的として、トイレ不足の早期解消のためにトイレカーの導入の準備を進めた。

10 自主防火防災用器具設置補助事業（防災安全課）

内 容	補 助 組 織	数	内 訳
防火防災用器具を設置する町内会等の自主防災組織に対する補助金の交付	防災用器具設置町内会数	1組織	車椅子 2台
	消火器設置補助町内会数	28組織	粉末消火器 135本 格納箱 35個

11 防災士育成事業（防災安全課）

内 容	人 数
防災士	0人

12 能登半島地震に係る人的支援

(1) 概要

令和6年1月1日に発生した能登半島地震により石川県で甚大な被害が発生したことから、人的支援として被災地へ職員を派遣した。

(2) 派遣場所

七尾市

(3) 派遣人数

2人

(4) 支援内容

ア 日程：6月9日～14日

イ 用務：罹災証明

ウ 人数：2人